

こんにちは。お元気ですか？

カナダでの生活も早いもので残り1ヶ月をきり、遂に最後のレポートとなりました。いよいよ日本に帰国出来る事はとても嬉しいのですが、カナダでの生活がもうすぐ終わってしまうと思うと少し寂しく思います。この2.3ヶ月、沢山のイベントがあり、とても充実していて時間が経つのがとても早く感じました。

【カナダでの学校生活】

体育のクラスでは、最近バドミントンとフィールドホッケーをしました。

そして時々、森の中を走ったりもします。

最近ではウェイトルームでウェイトトレーニングをしています。

カナダの学校の体育の授業が日本とは違うなと思う所は、授業中に音楽が流れていたり、色々なスポーツを体験出来る事です。

そして、良くゲームをしたり、スターバックスまで歩いて行き飲み物を飲む事もあります。

英語のクラスでは、短編小説の勉強が終わり、ディベートの授業がありました。

テーマは「女性は家にいるべき」と「女性は家にいるべきではない」でした。

私は、「女性は家にいるべき」のチームでしたが、私の考えとしては結婚しても仕事を続けて行きたいと思っているので、スピーチを考えるのに苦労しました。

英語で討論する事は本当に難しかったのですが、皆のやり取りを聞いているととても面白く、楽しかったです。

また、理科のクラスでは生物学を学び終わり、今は物理学について学んでいます。

生物学は単語が難しく覚えるのが大変でした。

フードのクラスは、相変わらずとても楽しいです。

最近はお肉を使っての料理をしています。これまでピザ、チキンクリスピー、チャーハン、チョコレートムースなど色々なものを作りました。

時々、グループごとに違うメニューを作り、お互いの料理を食べると言う

ビュッフェスタイルもありました。沢山の料理をしていると、主婦になった気分になり、意外とレシピア見れば何でも作れる事が分かりました。

フードクラスを選択してから料理がとても好きになりました。

フードクラスでは料理だけではなく栄養や穀物、食材についても勉強をします。

【2度目のウイスラースキー旅行】

前回の初めてのウイスラースキー旅行がとても楽しかったので、もう一度ウイスラーに行きました。

以前に比べてウイスラーの街は雪が少なく、全然積もっていませんでした。

前回は山の下の方で、しかも同じ場所でしか滑れませんでした。今回は山の上の方まで行く事が出来ました。

そこには雪が沢山降っていて、思い存分滑る事が出来、とても楽しかったです。

初めてのスキーをカナダで、しかも雪の質がとても良いと言われているウイスラーで、2回もスキーが出来るなんて、私はとてもラッキーだし、一生涯でとても良い思い出になりました。

【7ヶ月ぶりの母との再会】

私の住むビクトリアから船と電車とバスで約4時間かかる都市“バンクーバー”で母と待ち合わせし、7ヶ月ぶりに再会しました。

久しぶりに母に会った時は、感動して涙が出ました。

母とはバンクーバーではショッピングをし、ビクトリアに移動して、沢山のお花が咲いているブッチャードガーデンなどを観光しました。

また、ホストファミリーの家では母と一緒に天ぷら、お好み焼き、和風パスタなど8人分の日本食を作りました。

皆、料理がとても口にあったようで、沢山おかわりをしていました。

母も初めて会ったようには思えない位、色んな会話をし、ホストととても親しくなりました。

5日間、とても天気良く、夢のような時間を過ごしました。

【チアリーディングの大会】

大会の為にバンクーバーまで行き、2泊3日の泊まりがけで出場しました。

日本の大会でのマットは普段使用しているマットと変わらないのですが、

カナダの大会でのマットは内側にバネのような物が付いていました。

大会には沢山のチームが出場していて、ハイレベルなチームや小さい子供のチームも出場していて、とても可愛かったです。

海外でチアが出来るなんて、中々経験出来る事ではないし、しかも大会にも出場出来た私はとてもラッキーだと思います。

カナダでの忘れられない思い出のひとつとなりました。

【シアトル旅行】

シアトル旅行に行きました。本当に楽しかったです。

初めてのアメリカ本島に上陸した時は感動的で、国境を渡る時はとてもワクワクしました。

1日目は1日中アウトレットでショッピングをし、2日目はスターバックス1号店やスペースニードルというタワーに上りシアトルの綺麗な街を見ました。

【留学を通して学んだ事】

去年の8月、カナダ生活が始まった頃は、ホストファミリーでの沢山のルール、言葉の壁、食べ物の違い、宿題にかける時間など、今までの生活とのギャップで苦労も沢山ありました。

宿題を終えるのに深夜までかかる事もあったし、私が伝えたい事をホストマザーになかなか理解して貰えず、悔しくて泣いた事もありました。

本気でホストファミリーを変えたいと思っていた時期もありましたが、なかなか変える勇気もなく、留学期間も後半年足らずだと思い変えませんでした。

でも、変えなくて良かったです。

自分なりにマザーとコミュニケーションを取る努力をし、どんどん時間が経つにつれて心通うようになり、今ではとても楽しいホストファミリーとの生活を送れています。

ビクトリアは思っていたより日本人が非常に多いです。

日本食が恋しくなり、日本人の友達と集まって、みんなで日本食を作る事もありました。

私より更に長く滞在し、カナダの高校の卒業を目指している友達や、自分と同じような目標を持っている日本人の留学生との素敵な出会いがありました。

色々辛い事もあったけど、そんな日本人の友達の支えや、カナディアンとの出逢い、そして何よりも応援してくれている日本の友達や母の言葉に支えられて来たからこそ、この約1年間頑張れたのだと思います。

いつも当たり前だと思っていた日本での生活、日本の友達、両親が以前よりも増して大切に思えます。日本を離れていたからこそ気づく事が沢山ありました。

留学は、語学の習得だけではなく、貴重な経験がたくさん出来ると思います。

例えば、自分で朝昼食を作ったり、洗濯をしたりする自立心。

自分の意見を言う事や、先生やホストファミリーが言ってる事が理解出来なければすぐに聞いたりする積極性。

そして、異文化の違いを学べ、視野が広がります。

何でも挑戦することが大事だと思えるようになります。

1歩踏み出す事はなかなか難しい事ではありますが、その1歩を踏み出す事によって

自分自身が成長できるし自信もつきます。

このような貴重な経験をするきっかけを与えてくれた両親に感謝したいです。

【帰国後】

私は、将来英語を使った仕事をしたいと思っているので、このカナダでの経験を活かせるように、今たくさん事を学び、大学受験に向けて頑張りたいと思います。

帰国後は、留学していたこの1年間の学習の遅れを取り戻せるように日々頑張ります。そして、英語力をキープできるように色々取り組みたいと思っています。

女子聖学院の制服を再び着れる事、そして運動会に参加出来るのが楽しみで仕方ないです。

残り少ないカナダ生活で、出来る限りの事をやり切って、最高に楽しかった留學生活の最後を締めくりたいと思います。

それでは、お会いできるのを楽しみにしております。

M.N